

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
					1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 		
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	活動計画や各種配布物等にSDG'Sのアイコンを掲載し、常に目に触れるように工夫している													12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	活動において、ソーラークリッカーやスマートフォンなどを活用している							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	自然体験活動を展開する中で、天然資源の活用を実践している													12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	当法人の信用を失墜する行為については、常に戒め行動規範を確認している。また、すべての帳票類はダブルチェックで確認している。監査体制を確立している																16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	備品購入等の際は、必ず複数の見積りをとり、校正に意思決定をしている																16			
24	公正 な 事 業 慣 行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	活動等で特定のロゴや音源など使用する場合、意匠登録や著作権の侵害がないか常に精査している						8.2 8.3	9												
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報の管理については、その取扱いルールを会議の場等で適宜確認徹底している																16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物等は一切扱わない																16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	連携する保育園とは常に協議しながら、SDG'S推進の方向性を共有して活動計画を立案している					5		8		10		12	13	14	15	16	17			
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	信州の環境にやさしい農産物認証を取得、そのガイドラインに沿って米の生産をしている		3.9											12.4						
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	米・食味分析鑑定コンクールプレミアムライセンス取得									9										
30	製品 ・ サー ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	信州の環境にやさしい農産物認証を取得						6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	安全・安心な自然体験活動の実践が難しくなっている市街保育園に活動の場を提供している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32 社会貢献・ 地域貢献	32 社会貢献・ 地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の協力をもとに、事業の地域への影響を把握し、改善に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域の活性化に取り組んでいる。生産した米の売り上げの一部を地域団体(住民自治協議会)へ寄付したい(計画)				4							11			14	15		17
		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	生産したお米を通して地産外商に供している									8	9	11	12	13				
35 組織体制	35 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	法人としての目的や理念を定め、メンバー間で共有している									8	9							17
		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守は、会の信用や名誉を維持し活動を続けるための基本原理として位置付けられ、常に担当理事がチェックしている																	16
		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	活動については、それぞれ中心となる理事を定め、責任をもって事業を推進する体制をとっている																	16
		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	連携する保育園、またその保護者とはオンライン会議を含めた会合を適宜実施している。また、事業の振り返りやアンケート調査により事業の見直し改善を図っている																16	17
		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	活動上の危機管理や安全については、PDCAをもって継続的にその精度を高めていく																	16
		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	米の販売については、食品表示基準に基づき適正に対応する																	16
		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	連携する保育園、また地元の住民自治協議会などと協議しながら事業の継続性を担保していく									9		11		13	13.1			16
		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
 - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
 - また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)